



「考える」ということ

みなさんは、日常生活でいったいどのくらい考えていますか？
 ちなみに正解を答えていくテスト勉強は、「考える」ではありません。
 新しいクラスをどんなクラスにしていくかは、「考える」となります。
 一人で考える時、私たちは自分に問いかけては答え、また自分に問いかけ新たな答えを考えます。それを繰り返す。つまり「考える」とは自分自身との「対話」ということです。



そして対話であれば、語る相手、つまり「聞く」人がいます。一人で考えている時、この聞き手は自分自身ですが、それは自分の中にいるもう一人の自分で潜在的には他者と言えます。

仲間とともに考える時、私たちは仲間に関わりかけ、仲間の答えを聞きます。自分と同じなら「そうそう」と納得し、違った場合は、そこで新たな対話が始まり、「ああじゃこうじゃ」と対話する中で自分自身が新しいことに気づいたり、新しい答えを見つけたりします。そこで自分の間違いに気づいたり、仲間の考えの深さに気づいたりすることもあります。

しかし、最近はどうでしょうか？考えて発言することができず、対話することもできない人が増えてきていると思いませんか？自分の言い分ばかり通そうとする人。自分の言っていることが絶対に正解だと思い込んで話す人。他者の話を聞こうとしない人。今の自分自身に関わりかけてみてください。

対話するためには自分自身の知識を増やすことが大切です。そのためにみなさんは中学校で学んでいるのです。新しい知識を身につけるために新しい仲間や新しい先生方と対話することで自分の世界も広がっていきます。詫間中学校の生徒は、もっと考え、学んでいかなければなりません。

「考える」ということは、一人で考える時は、自分自身との対話。仲間と考える時は他者との対話。「共に問い、考え、語り、聞くこと」です。

新しい1学期のスタートです。新しい環境で新しい仲間や先生方としっかりと対話し、考えを深められる生徒になってください。

★★★★★★★★★★★★★ キーワード「考える」の四字熟語 ★★★★★★★★★★★★★★

【自問自答】じもんじとう：自らに関わりかけて、自ら答えを言うこと。納得がいけないことや疑問を自分自身で、反芻（はんすう）すること。また、あれこれ考えて思い悩むこと。

【創意工夫】そういくふう：新しく斬新（ざんしん）な考えで、いろいろな手段を試みること。適切な方法や能率的な手段を、新規に考え出すこと。

【遠慮近憂】えんりょきんゆう：遠い将来のことまで見通した深い考えをもって行動しないと、必ず身近なところでさし迫った心配事が生じるということ。

【沈思黙考】ちんしもっこう：黙ってじっくりと深く物事を考え込むこと。「沈思」とは深く考える意。「黙考」とは黙って考える意。

【熟思黙想】じゅくしもくそう：精神をじっと集中して、静かに物事を考えるさま。黙ったままで、長い時間、一つのことを深く考えること。

【深謀遠慮】しんぼうえんりょ：深く考えを巡らし、のちのちの遠い先のことまで見通した周到綿密な計画を立てること。また、その計画。

【千思万考】せんしばんこう：何度も考えること。また、あれこれ考えて思いをめぐらすこと。何回も思考してみるという意味。

新学年での自分自身の「考える」四字熟語として自分のモットーとなる四字熟語を選んでこれからの生活の糧としてみるのもいいですよ。「考える」四字熟語は、まだまだたくさんありますよ。